

節目に一言

喜寿を迎えて

山口 金弥

(昭和36年機械科卒)



私は昭和36年3月に機械科を卒業した山口金弥です。この名前は卒業時の名簿を見ても載っていないでしょう。実は20歳を過ぎてから、跡取りが居ない親戚の山口家の養子となって姓が変わった為です。旧姓は畑山です。その後、秋田市に住んでいた現在の妻と結婚して、今日に至っております。

夫婦共に秋田出身なので、日頃秋田弁が飛び交い、それを娘や孫達が真似をしますが、まだまだと言うところです。

私の出身地は由利郡矢島町(現在の由利本荘市)で、秋工高には列車通学でした。朝は5時台の一番列車に乗り、帰りは秋田駅発16時台の列車に乗り、帰宅は17時過ぎと言う毎日でした。高校を卒業した時は遠距離通学から解放されてホットしたのが思い出されます。

秋工高卒業後に上京し働きながら芝浦工業大学の二部(夜間部)の機械科に通いました。二部は全日制より長い5年制で、そこを卒業した時の本当に解放された気分は、今でも忘れられません。大学3年の時、卒業まで後2年あるから落ちてもともとと、気楽な気持ちで国家公務員試験上級(現在の一級職)の機械を受験しました。結果、運良く合格し各省庁から入省の勧誘がありましたが、私は特許庁を選択し、大学の残り2年間といわゆる二足のワラジを履いて頑張りました。

特許庁には全技術分野を網羅するよう各審査室があり、私は自動車、航空機などの分野の発明、出願書類を審査する「運輸」(課に相当)と言う審査室に配属されました。この運輸と言う部署以外にも、工作機械などの分野を審査する「工作機械」の審査も経験し審査官、審査長、その後審査部の上級審に当たる審判部に異動になりました。この部署は審査官の審査が適正で有ったかどうかをチェックする部署で、3~5人の審判官の合議で審理されます。その部門で審判官、審判長、部門長を歴任しました。

特許庁在籍間に他省庁に出向して、国家公務員上級職(人事院)の機械部門の試験委員や弁理士試験の特許法の試験委員に任命され、試験問題の作成や採点に当たりました。東京地方裁判所に於いて、裁判所調査官として、特許侵害事件担当の裁判官の手助けをして3年間勤務した後に古巣の特許庁に戻り、3年後51歳で退官しました。

在職中に特許制度は大きく変わり、業務に変化をもたらしました。特許の調査・サーチがコンピュータ化されたのです。このため審査官のサーチ作業を外郭団体である工業所有権協力センター(通称

IPPC)に委託するようになったのです。退職後この団体のサーチの指導者として7年間務めました。その後折角弁理士の資格があることから、自由業になって見たいと弁理士業を始めましたが、弁理士業は時間的に自由が無く、不自由業であったので自分の好きな事ができず、2年間で事務所を畳みました。その後名古屋で、日本で最初の民間サーチ会社「テクノサーチ」に入社しました。娘が名古屋に嫁いでいて、孫も3人いるので名古屋で暮らしてみようと、移り住みました。

70歳になった平成24年の秋に「通産功労」と言うことで「瑞宝小綬章の叙勲」を受けました。文化の日に皇居に赴き、天皇陛下にお目にかかれたことは、本当に感動でした。71歳でテクノサーチを退職し今に至っております。

以上は仕事がらみですが、この間、24歳で始めた「合気道」は私のただ一つの趣味として今でも続けています。

合気道との関わりは、審査官時代にあります。特許庁の近くの道場で目にした合気道(当時、合気道はまだ今の様に知られていなく)を始めました。神経を使う審査の仕事のストレス解消にピッタリで、始めたら面白くなり、退勤時以降は時間のある限り道場に通い、その内仲間を募って昼休みの時間にもやる様になりました。この年になっても若い人と一緒に稽古できることが合気道の特徴でしょう。

秋田、東京、名古屋、三重と各地で合気道の仲間に加えていただき、健康で合気道を続けられることに感謝しています。合気道七段(最高位)師範です。



新宿の道場で演武



武道館にて



仲間と指宿にて

秋田の家、三重の家を整理しながら、これからの居住をどこで過ごすか模索中です。



総合建設コンサルタント
(一社)建設コンサルタンツ協会会員

富士コンサルタンツ株式会社

取締役 東北統括本部長

野呂 昭光 (昭和37年土木科卒)

〒960-8071 福島県福島市東中央3丁目37番地1
TEL: 024(536)2042 FAX: 024(536)2080
E-mail: noro@fujicons.jp

◆ 業務内容

土木設計: 道路・橋梁・河川・下水道・上水道・鉄道・公園
調 査: 測量・地質・橋梁点検

本 社 〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉4-18-10

TEL: 028(635)-2770(代) FAX: 028(633)3502

東京事業本部 〒140-0004 東京都品川区南品川6-12-13

TEL: 03(3474)-0365(代) FAX: 03(3474)0402

仙台支店 〒982-0013 宮城県仙台市太白区太子堂10-20

TEL: 022(395)6216 FAX: 022(395)6217

営 業 所 札幌・盛岡・秋田・山形・高崎・北陸・福岡

